

SHONAN BEACH FM MAGAZINE

789 TO YOU 湘南ビーチFMがおくる地元密着マガジン

2024逗子海岸の夏



© EIZIN SUZUKI

beach fm78.9



listen now!

789 掲示板

私の好きな湘南

MY FAVORITE SHONAN

リビエラ逗子マリーナ
イベントデスク 喜多しおり

18歳から約4年、縁あって逗子

駅前の立ち飲み屋「寄り屋」で働くこととなった。幅広い年代のお客様から多国籍なお客様までが立ち寄り、地元の方も観光の方も同じ目線で話をする、そんな店だった。

オーナーが創り出す温かさやお客様とのコミュニケーションを間近で学び、いつか自分もこの人のようになりたいと思つたようになった。そして、生まれ育った逗子を盛り上げていくために自分にできることは何かを考えるようになった。

心温かい逗子の街を、もっとたくさんの方に知ってほしいという純粹な思いから、リビエラ逗子マリーナが有名なリビエラへの入社を希望した。とはいっても、実は入社する前の私は、成人式の二

次会や知人の結婚式で利用したことがあるだけだった。しかし実際

には、リビエラ逗子マリーナには実に多くの私の知らない顔があり、正直驚いた。リビエラが展開するようになった2001年当初から環境活動が開始され、場内のコンポストステーションとバンケットやレストラン社員同士の連携で

キッチンのごみが堆肥化され、それを使って地元農家で栽培した野菜が再びレストランで提供される循環エコシステムに、2006年から取り組んでいる。また、国際環境認証「ブルーフラッグ」マ

リーナ認証をアジア初取得するなど、リビエラ逗子マリーナでは環境配慮が当たり前。ハイブランドのポップアップショップが行われたり、企業の展示会や周年イベント、会合を開催したり、映画やド

ラマの口ケ地になったり、湘南ビーチFMと共同主催の毎月のジャズライブなど一般の方が訪れなくなる豊富なイベントがあったり、レストランやホテルには海外からもお客様が訪れてくれたり。

私は今、イベント会場を利用される方のプロデューサーやイベント企画、フォトウエディングの仕事を中心にしている。中でも私が携わっている毎年10月末のハロウィンイベントは、逗子を活性化させたいという思いを胸についつい力がはいる。2022年から地元との連携が始まり、毎年大人気の仮装

「Love the life you live.
Live the life you love」
ボブ・マリー



「It's the economy, stupid!」
「経済問題だけ訴えていればいんだ、バカモン」とでも訳すか。1992年の米大統領選挙の際ビル・クリントン候補の選挙事務所にこういう手書きのスローガンが掲げられた。

冷戦の終結や湾岸戦争の勝利など大きな外交成果をあげた現職のジョージ・H・W・ブッシュ大統領に対抗するために、クリントン候補の選挙参謀ジェームス・カールビルが考えたとも言われる。クリントン陣営は景気後退やインフレ対策でブッシュ政権を批判するキャンペーンに重点を置いた結果、ブッシュ大統領の再選を阻止し当選を果たした。

この標語はその後の大統領選でも利用され、今年もバイデン大統領がインフレを放置しているとトランプ陣営に責められて苦戦している。

しかしこれは米国だけで通用する標語ではないだろう。日本でも国民の関心は物価高にあるのはさまざまな世論調査が示している。「インフレ2%目標達成！」などと物価高を奨励するようなことを言っていると、与野党を問わず国民にしゃべ返しを喰らうのではなからうか。

「物価問題にもっと真剣に対応してもらいたいのだ、バカモン！」

TARO's Notes



Text: 木村太郎